



### ⑬御指物写一

明和2 (1765) 年5月

藩主の御旗・御纏<sup>まとい</sup>・御馬印・御小馬  
 駿<sup>じるし</sup>・御船駿<sup>ふなじるし</sup>・御召替<sup>めしかえ</sup>船駿<sup>つかいばん</sup>などや、船奉  
 行、組頭、側士、使番、小目附などの  
 指物を写した史料です。

パネルで紹介した「一知見龍」の馬  
 印は、1673 (寛文13) 年松平直矩が播  
 磨国姫路鎮守軍八頭・正一位伊勢大明  
 神の霊夢により一知見龍<sup>ふれぶみ</sup>の触文<sup>こうむ</sup>を蒙ら  
 れたことから、代々の御印となったと  
 いうことです。

酒井保敏家文書 P0005 No. 59

